

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2014年10月号 収穫の秋



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/>



「二世代にわたって」

小野寺 佳織 (ぶらいむ・たいむ本町校 保護者)

子供を迎えに行くと、いつも元気のいいかわいい子どもたちが出迎えてくれます。部屋の中は、ボールやぬいぐるみが大きく飛び交っています。畳にゴロンと横になり本を読んでいる子どもたちの間を器用に走り回っている子どももいます。毛布にくるまったり机や椅子を何かに見立てて遊んだりしている子どももいます。突然、顔中マジックでペイントされたリーダーが「ど〜も〜」と目の前に現れ、いったいここはどうなっているのだろう、とびっくりさせられることもありますが、一人一人に自分の居場所があって、その居場所をみんなが大事にしてくれていて、この空気と雰囲気がとても大好きです。

私は、大学時代の恩師を通してYMCAの活動を知りました。もう仕事をしていましたので、仕事をしながら週末に仙台YMCAに通っていました。タイYMCAとのつながりで、タイの子どもたちの実情を知り、現地で活

動したり、盛岡YMCAの濱塚さんやリーダーたちと交流する機会もありました。縁あって、娘が学童保育でお世話になっており、濱塚さんやリーダーの方々とのつながりが二世代にわたって続いています。

YMCAのリーダーたちは、いつも真剣です。納得がいくまでとことん話し合い、夜遅くまで準備をし、どんな時もどんな状況でも思いっきり楽しんでます。リーダーたちの一人一人の輝きがみんなの輝きにつながっているのだと思います。大人も子どもも、みんなが輝いているリーダーの姿を見ています。そして、いつもにっこりしています

盛岡YMCAのスタッフみなさんのおかげで子どもたちが健やかに育っています。たくさんのありがとうとこれからの活動にエールを送ります。

..*..☆ 初開催！向中野センターバザー ☆*..

9月21日(日)盛岡YMCA向中野センターで、バザーを開催いたしました。当日は多くの方が来場し、大賑わいでした。今回は普段YMCAの向中野の学童にきている子ども達もボランティアリーダーとして参加してくれ、バザー品販売コーナー、射的コーナー、喫茶店コーナー、模擬店コーナーの4か所に分かれ、それぞれ元気いっぱい売り子として大活躍してくれました。中にはポスターやレジ周りの張り紙を、より良く見せる工夫をしてくれ、子どもがいたり、担当場所飛び出し、館内にいるお客さんに声をか

けてお店に寄ってもらう子がいたりそれぞれの才能を発揮していました。そんな子ども達の元気に感化され、我々スタッフも一日を元気いっぱいに過ごすことが出来ました。

YMCAとしては、今後もこのような活動を通して、地域の方々と触れ合う機会をどんどん作っていかれたらと考えております。販売品の寄付、当日の参加、それまでの準備、ご来場して下さった方々、本当に有難うございました。



★サルリーダーといっしょにうすやきをやいたり、玉こんにゃくをつくってぜんぶでお金が9000円くらいになってすごかったからみんなまんそく。とってもたのしくて、ずっとわらってた。玉こんにゃくはひるになったらすごくて、とってもつかれた。ふくもよこれちゃってせんたくがたいへんそうだった。たのしい一日でよかった。

向中野小学校 2年生 齋藤 璃音ちゃん 写真右

★うすやきをつくったとき、いれたのがいかとおのりとおけだまとおしょうがとしょうゆをつかってうまくなつたのでよかったです。玉こんにゃくは、さすのやとるとか、ちいさいものをあじみするのをやっていたのしかったです。

向中野小学校 2年生 関 彩音 ちゃん 写真中央

★うすやきをつくったことがなくて、はじめてつくったときにびっくりがえすのがむずかしかったけれど、なれたらびっくりがえすのがじょうずになったのでよかったです。サルリーダーとやったのはじめてだったのでよかったです。玉こんにゃくをつくったときにさすのがむずかしかったけれど、やっているうちになれました。

向中野校 向中野小学校 2年生 城守 愛奈ちゃん 写真左

※ 文中の、サルリーダーとは、向中野センターの小川所長のことです。

活躍してくれた小学生 リーダー達



【今回のバザーの収支報告】

☆ 収入 444,888円
(バザー会場、模擬店、喫茶コーナーの売上)
☆ 支出 29,031円
(模擬店、喫茶コーナー材料費)

☆ 益金 15,457円
今回のバザーの益金は、日本MCY同盟、世界YMCA同盟を通してガザYMCAへの支援金、活動資金に充てさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。 パレスチナ・ガザ地区緊急支援募金

この度は、パレスチナ・ガザ地区緊急支援募金にご協力頂き有難うございました。8月末日段階で、87,510円の募金が盛岡YMCAに寄せられました。

皆さまから寄せられた募金は、スイスにある世界YMCA同盟に送金され、世界中から寄せられる募金とともにガザYMCAの活動に用いられます。ガザYMCAのフェイスブックから現地の様子を報告します。

ガザYMCAのリーダー達です。この日はオープンディレクションやスポーツをして楽しみました。彼らが今後の長期的な支援活動を担ってくれることでしょう。↓



↑ 支援物資を運ぶガザYMCAのボランティアの人たち

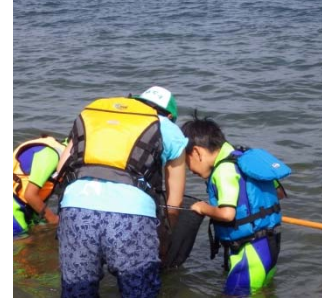


↑ 送られてきたスクールバックは配布します。



↑ なんか、キャンプの時と同じようなことをやってるぞ！





9月6日（土）秋晴れの中、宮古市内の小学生を対象とした「マリンスポーツ体験」がリアスハーバー宮古で開催されました。

この企画は、盛岡YMCA宮古ボランティアセンターが行っている「宮古を愛する子ども達の育成事業」の一環で、宮古の子ども達に海に慣れ親しんでもらうことを目的に開催されました。昨年に引き続き2回目のプログラムです。

宮古市のNPO いわてマリフィールド、さんりくESD閉伊川大学の皆様のご協力で、今年も開催できました。参加した子ども達は、25名。これに清泉女子大、岩手県立大学、岩手大学の学生ボランティアの皆さんが加わりました。カヤック体験、モーターボートでの宮古湾クルージング、海辺の生物観察と盛りだくさんの内容に子どもたちは、大喜びでした。

普段、「疲れた」という言葉を子ども達が言うのを良く耳にしますが、「くたびれた」と言う子どもは少なくなりました。「くたびれる」ためには、好奇心を持って、目や耳や鼻、皮膚など全ての感覚を研ぎ澄まして遊ぶ必要があると思います。

今回は、海を目の前にしてスタッフの人の説明を真剣に聞かないといけないうし、また、宮古の大自然の景色を目に焼き付け、波の音を聞き、潮の香りを感じながら、くたくたになるまで色々な体験ができたと思います。こうした体験が目には見えませんが子どもたちの心の栄養になっていくのでしょうか。今回のプログラムにいただいた、NPOの皆さん、ボランティアの学生の皆さん、本当に有難うございました。



かもめの玉子セーラーカップ



8月30日から八幡平市でかもめの玉子セーラーカップが開催されました。盛岡YMCAベストキッズは今年度も出場してきました。対戦相手は手代森、水沢、花巻、北上大堤の4チームで、水沢、花巻は全日本少年サッカー大会でも闘った相手でした！今大会は6年生最後の大会ということでもいつも以上に気合が入っていました。

初日の手代森戦では相手に合わせてしまい、勝つことは出来ましたが、自分たちのサッカーという点では課題の残る試合となりました。2試合目の水沢戦では全日本の時に0-2で負けている相手であったため、絶対勝ってやるという気持ちがプレーに表れていました。

一人一人がチームのために闘い、最後まで走り続けていました。結果は3-0で勝つことができ、リベンジを果たしました。宿舎では洗濯や部屋の管理など自分たちで行い、ご飯もペンションに用意してあるご飯を食べ尽くしてしまうほど食べていました。朝は散歩してから体操をして、朝ごはんを食べるところまで部屋のメンバー関係なく全員で明るく話しながら過ごしていました。2日目は2試合とも負けることがなければ決勝トーナメント出場という条件で迎えることができ、選手たちも頑張っていたのですが、結果は2試合とも負けてしまい、決勝トーナメント出場はなりません。今の6年生は他のチームに移籍してしまったり、サッカーを辞めてしまったりする仲間たちもいた学年で私Gパンが入ってきた時から最後まで残った選手は3人でした。しかし、今まで以上に縦の仲が良いチームになりました！これからは5年生が中心となったチームでの行動が多くなりますが、6年生も含めてとてもいいチームで一緒に闘えたことを幸せに思います。

盛岡大学児童教育学科3年 向平 悟（Gパンリーダー）

10月・11月の予定

- ★10月5日(日) 13:00~16:00
サンデースクール
「プラネタリアムをつくろう！」
(於：ぶらいむ・たいむ本校)
- ★10月19日(日)
10月森のようちえん
「秋を集めよう♪たんけんキッズ☆」
(於：滝沢森林公園)
- ★10月25日(土)~26日(日)
10月アドベンチャー
「湯分校で食欲の秋♪」
(於：秋田県 思い出の湯分校)
- ★11月2日(日)
チャンピオンズカップ
於：岩手県立大学 グランド(予定)
- ★11月9日(日) 13:00~16:00
サンデースクール 「」
(於：おでって5F生活アトリエ)
- ★11月16日(日)
11月森のようちえん
「かわいい動物たちとあそぼう♪
ふれあいキッズ☆」
(於：盛岡市動物公園)
- ★11月24日(月・祝)
国際協力街頭募金
(於：盛岡駅周辺、大通り等)
- ★11月30日(日)
11月アドベンチャー
「動物たちとふれあおう！」
(於：馬っこパーク岩手)

君でいいんだよ ~JUST THE WAY "YOU"ARE④~



セイタカアワダチソウの話



わたしが、高校生の頃でしたから、今から30年以上前のお話です。日本中の人たちを敵に回し、日本古来の植物「すすき」を駆逐しなら次から次へとその勢力範囲を広げていった外来植物がありました。

その名は「セイタカアワダチ草」別名「キリン草」です。その名のとおり、キリンのように背が高く、2メートル以上にも成長し、黄色の花を咲かせます。その繁殖力たるや凄まじいものがあります。土手、空き地、はては工事現場など場所を選ばずどこでも繁殖します。

当時はマスコミも黙っていません。何度となく新聞やテレビで取り上げられ、NHKでは特集番組が組まれたりしました。生態系を崩す草、とりわけ秋の風物「すすき」を駆逐することから、十五夜の月見の時などは目の敵にされていました。わたしも「とんでもない草だ！」と憤慨していたことを覚えています。

ところが、高校を卒業した後、ある科学番組を見ていたら、悪の根源「セイタカアワダチ草」が全く違った角度から取り上げられていました。白衣を着たどこかの大学の先生のお話でしたが、日本中を席巻した「セイタカアワダチ草」の大繁殖は実は、ひとつの役割を果たしていたという見解でした。73年まで続いた高度経済成長の中で、日本は、次々と宅地や道路が造成され、空き地

や粘土層がむき出しになった土地が日本のあちこちに見受けられていました。こうした土地は、もう日本古来の植物が生育できるような環境ではなくなっていたそうです。

そこに登場したのが「セイタカアワダチ草」です。北米原産で日本には、切り花の鑑賞植物として導入されました。繁殖力が旺盛なこの草は、粘土層など他の草が生育できない場所にもどんどん進出し群落を形成します。それくらい生命力の強い草ですから、当然状態の良い土地にも進出し、そこでは4メートルくらいになったりします。こうして「セイタカアワダチ草」の大フィーバーは全国に拡大していきました。

しかし、個体数がある一定の限界を超えるとその繁殖力が抑制されるのが生物界の原則です。個体は小さくなり、多くの群落は枯れ、倒れ、そしてそれが腐敗分解され表土を形成し、他の植物が生育できる環境をつくりあげていきました。

「セイタカアワダチ草」は他者から非難され、日本中から白い眼を向けられている中で淡々と自らの「いのち」の使命をまっとうしていたのです。こうした役割を生物学では、「パイオニア」というそうですが、地球上の生きるもの全てが何らかの役割を担ってこの世に生を受けている。そう感じた話でした。

短い夏も終わり、秋の気配を感じる季節になってきました。この時期になると時折、道路わきで申し訳なさそうに咲いている「セイタカアワダチ草」を目にすることができます。

(盛岡YMCA総理事 濱塚 有史)



もりおかワイズメンズクラブ便り No.3

「夢が広がる、盛岡YMCA」

もりおかワイズメンズクラブ 長岡 正彦

私には夢があります。盛岡YMCAを仙台YMCAのような大きな団体に育てる事です。盛岡の街に根付いて30年とはいっても、まだまだ認知度は低いのが現状です。そんな盛岡YMCAを「子供を預けるならYMCA」と呼ばれるような団体にしたいのです。幼稚園から高校まで学校を運営して、文武両道の学校法人に育て上げたい。そんな夢を持っています。また職員の収入も、志を成し遂げて、十分な生活が出来るようにしたい

のです。今の盛岡YMCAでは、心はあるのですがお金が無い。若い力を十分に発揮させるためにも、収入アップは大切です。少子化が進み、子供の数が少なくなっていく将来になって無謀な事を、と思うかもしれませんが、口に出して、アピールする事の大切さを知っています。こんな事を口にすれば、出来なかったとき大風呂敷と呼ばれるかもしれませんが、私の本心です。みなさん、盛岡YMCAを応援していきましょう。みなさんの小さな力を集めて、大きな盛岡YMCAの花を咲かせましょう。

表紙の写真から



9月27日~28日に行われたアドベンチャークラブでの1枚。今回は畑で野菜の収穫体験を行いました。ニンジン、枝豆、ナスを収穫！！

特にニンジンの収穫には子どもたちは大喜び。面白がって次から次へと秋の味覚を引っっこ抜いていました。こうして収穫した大量の野菜たちはもちろん、キャンプでもおいしく頂き、お土産もたくさん持って帰りました。

9月サンデースクール 「ピザづくり」

どもメニコンです！9月サンデースクールは14日(日)におでってでピザを作りました！17人の子どもたちが集まってくれました。作業はグループごとに分かれて行いました。ピザ生地をみんなで一生懸命こねて、それぞれ思い思いの形に生地を伸ばしていました。生地を伸ばした後はそれぞれソーセージやナスなど、たくさんの材料を自分達で切って生地にのせたり、フルーツやチョコを使った少し変わったスイーツピザなどそれぞれ個性的なピザを作っていました。ピザが焼き終わると皆でいただきますをして自分の顔ほどある大きなピザを大きな口でほおばっていました。

10月のサンデースクールは5日(日)にプラネタリアムづくりをします。たくさんの参加お待ちしております！
澤野 俊理 (メニコンリーダー)



感謝

(2014年度)
8月31日現在
順不同・敬称略

●維持会費

- 今野聖子、今野健男、角谷晋次、角谷千代子、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、濱塚真美、井上修三、井上浩太郎、井上優子、伊藤克見、大関靖二、工藤直子、佐藤翔、川坂保宏、及川茂夫、及川恵、名古屋恒彦、熊谷力實(株)興和電設、小畑孝子、田村治之、水田賢次、南原良哉、一戸貞文、小関悦子、阿部靖、川守田浩、金田節子、金野東輝子、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、押切梓、岡田虎治、伊藤真太郎、伊藤愛美、及川、忠人、重石桂司、伊藤真一郎、魚住英昭、高瀬稔彦、長岡正彦、清水治彦、中屋重正、古澤輝、鶴丹谷三千代、小林茂元、吉崎陽

●寄附金

- 角谷晋次、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、佐藤翔、及川茂夫、熊谷力實、水田賢次、南原良哉、中村恵美子、伊藤真一郎、花田瞳、中屋重正

●東日本大震災被災地支援募金・献品

- 林辰也、佐々木翔一朗、佐々木朗人、港凱理、岩井和己、学校法人広島YMCA学園、小畑孝子、日本キリスト教団内丸教会、NPO法人茨城YMCA、吉崎陽、捜真小学校(横浜市)

●国際協力募金

- 中条和哉、岩井和己、大関靖二、岡田虎治、熊谷圭祐、伊藤真一郎、フジクリン、岩手、濱塚秋二、濱塚れい子、鶴丹谷三千代、魚住英昭、増田隆、今松桂子、熊谷太、濱塚有史、盛岡チャペル、早坂朗、鬼柳忠彦、上中優奈、杉田弘美、小笠原邦夫

